

# あなたのお店を拝見 農家に必要とされている 存在であり続けたい

## 有限会社峰浦商会

その280

宮城県北部に位置し、奥羽山脈から江合川と鳴瀬川の豊かな流れから形成された、広大な肥沃な平野「大崎耕土」を有する大崎市にある有限会社峰浦商会(宮城県大崎市田尻沼部字新富岡19-1 代表取締役 峰浦正俊氏)を訪ねました。

田尻駅から車で20分の場所にある蕪栗沼は、ラムサール条約湿地に登録され、国内でも貴重な自然環境が残る渡り鳥の楽園です。



社長 峰浦正俊

天然記念物のマガンやオオヒシクイなど、約5万羽の雁が朝もやの中から一斉に飛び立つ姿は見るものに大きな感動を与えてくれます。



峰浦商会

また周辺の水田では冬から春にかけて、田を耕さず水を開る冬期湛水水田「ふゆみずたんぼ」を行い、そこをこのように自然の恵み豊かな地にある峰浦商会は、平成18年3月末に市町村合併で誕生した大崎市の東部田尻地域、JR東北線田尻駅から徒歩3分程の場所にあります。

昭和6年、現在の社長、峰浦正俊氏の祖父が稲刈りの鎌や除草機等を販売することから始まり、昭和35年11月に会社組織となりました。しかし会社設立時の心労や諸々のことなど

が重なるためか、会社設立から僅か1か月後に初代社長の祖父が亡くなり、現会長の峰浦正俊氏が若くして社長に就任しました。昭和61年には本社社屋の建て直しが行われ現在の本社社屋になりました。

平成10年、峰浦正俊氏が社長に就任し現在に至っています。本社の整備工場について、峰浦社長は工場の写真撮影しているとき「工場はもう少し大きくすればよかったかな」とつぶやいていました。

ねぐらとする鳥たちの糞が肥料となり、良質の米「ふゆみずたんぼ」を栽培。渡り鳥をブランド化して米の販売を行ったり、豊かな自然環境と安全な農作物の象徴として渡り鳥を活用している方もいます。同時に行政が食害対策もとりつつ渡り鳥との共存を目指した取り組みが進められています。

会長の住男氏が卒業と同時に峰浦商会に入社したのと同様に、社長の正俊氏も昭和55年に大学を卒業後、他社には行かず峰浦商会に入社、クボタで1年間整備等を学び、会社に戻ってからは主に営業を中心に行いながら会社経営を学んできました。

峰浦社長は宮城県商協の理事、副理事長を長年務められていることから、商協活動についても伺いました。購買については組合員に広く利用してもら

顧客の90%以上が水稲農家で、地域の人口が減少、兼業農家も減少傾向、顧客農家の高齢化などの問題が深刻さを増していく中、さらにTPPによって米の輸入等が自由化され、米価が今後下落が続けば、農業を続けたい人も減るかもしれないなど考えられるマイナスイメージが、今後の経営にどのような影響が出るのか予測が難しい状況です。

峰浦社長はTPPの行方を気にされながらも、ご自身の代で会社を終わらせるようなことはしない。次の代へつなげていく決意を持って経営にあたられています。そのためにも交渉過

た父である住男氏を、社長として、また現在は会長として「会社をここまで成長させてきた功労者」とその手腕を高く評価し、また長年一緒に仕事をしてきたことについても「経営に対する方向性、考え方はほぼ同じで、意見の対立はほとんどなかった」と、親子のやりつらさを感じることなく、それぞれの役割をしっかりと果たし今日の会社の成長につながりました。



峰浦商会は現在本社で業務にあたり、30代から60代まで幅広い世代が在籍しています。営業はそれぞれの立場、経験を活かし、ベテランの充実した

ベテランの充実した仕事ぶりもあり、現在は定年を60歳としていますが、再雇用し継続して働いてもらっている方も多くいます。反面、最近ではメーカーによる技術研修が以前より少なくなっているため、若い世代の整備研修に不安な一面もあると話されていました。



整備工場

また事務局職員の数も可能なら増やして組合事業の展開に力を注いでほしいとのことでした。

峰浦社長はTPPの行方を気にされながらも、ご自身の代で会社を終わらせるようなことはしない。次の代へつなげていく決意を持って経営にあたられています。そのためにも交渉過

TPPや、農政の確かな情報を基に経営判断

展示スペース



展示スペース

## ○従業員の福祉向上のために《福祉補償制度》にご加入下さい。

**制度の特色**  
● 団体契約なので、安い掛金(毎月1口500円)で高額補償です。  
● 販売店で負担する掛金は、損金算入できます。  
● 中途加入できますから、いつでも商協へどうぞ。

1口加入の場合の補償額	
傷害補償型	労災補償型
死 100万円	死 2,000万円
後遺傷害 100万～3万円	後遺傷害 2,000万～40万円
入院保険金 1日につき1,500円	休業損害 1日につき2,500円
通院保険金 1日につき900円	

OR

代理店 全国農業機械商業協同組合連合会 委託保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社



